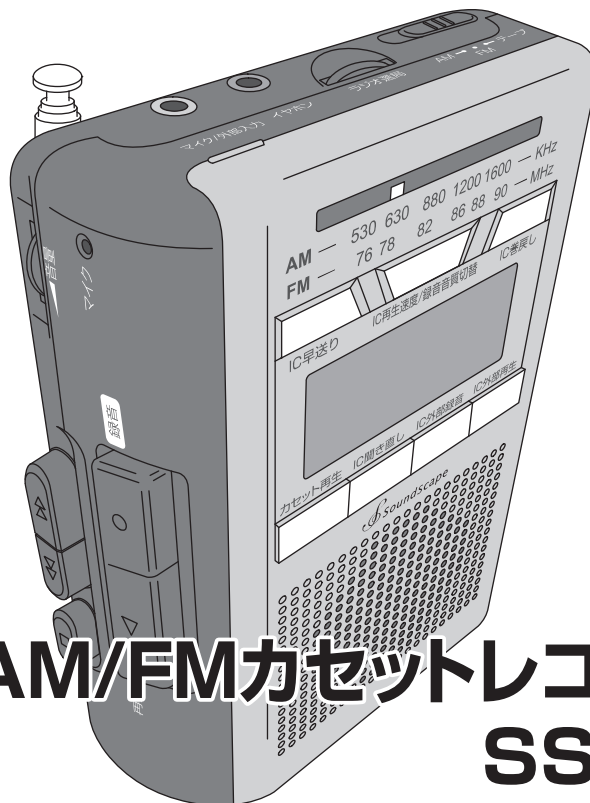


SoundScape



IC録音AM/FMカセットレコーダー SS-603

取扱説明書

※イラストはイメージです。実際の外観と異なる場合がございます。

※巻末に製品保証書が添付されています。大切に保管しておいてください。

※本製品のデザイン、仕様は予告無く変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。

このたびは、SoundScape IC 録音 AM/FM カセットレコーダーをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

本製品は IC 一時録音機能を搭載し、カセットテープ再生中、気になる箇所を繰り返し再生したり、自分の声や演奏を一時録音して確認することができます。語学学習やカラオケの練習に最適です。AM/FM ラジオやマイク、外部機器からカセットテープに録音することもできます。

この取扱説明書をよくお読みになり、ご理解した上でご使用ください。また、「安全上の注意」の内容を必ずお守りください。

本取扱説明書の巻末に製品保証書が添付されていますので、必要事項をご記入の上、大切に保管してください。

目 次

1. 安全上のご注意	1	3-5. IC聞き直し再生	17
2. ご使用になる前に		3-6. IC外部録音／外部再生	24
2-1. 内容物の確認	4	4. 故障かな?と思ったら	26
2-2. 各部の名称と機能	5	5. お手入れについて	27
2-3. 電源について	6	6. 仕様表	28
2-4. イヤホンを使用するには	8	7. アフターサービスについて	29
3. 使用方法		製品保証書	巻末
3-1. ラジオを聴くには	9		
3-2. カセットテープ取り扱い上の注意	10		
3-3. カセットテープを聴くには	11		
3-4. カセットテープに録音するには	13		

1 安全上のご注意

この項目では、人への危害や財産の損害を防ぐための注意事項を説明しています。

⚠ 警告 この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険があります。

⚠ 注意 この表示を無視して誤った取扱いをすると、人的および物的損害が発生する危険があります。

⚠ 警告

- 本製品は、定められた電源(単三型アルカリ乾電池2本(別売)、または付属の AC アダプタを使用する場合は家庭用 AC100V 電源)を用いて使用してください。
- 本体やケーブルの上に物を載せたり、無理な力のかかる環境でご使用にならないください。また、ケーブルを無理に折り曲げたり、切断・加工を行わないでください。
- 本製品を水気・湿気の多い場所で使用しないでください。本製品の近くに水の入ったものを置かないでください。本製品に水をかけないでください。
- 濡れた手で AC アダプタやコンセントに触れないでください。
- 本製品の中に異物を入れないでください。本製品や各付属品を分解・改造しないでください。
- 本製品にろうそくやライター、火気を近づけないでください。また、暖房器具、調理器具などのそばに放置しないでください。

- 本製品が正しく動作しない場合や、本体が水に濡れる・破損・変形・異臭を発する・発煙などした場合はただちに使用を中止し、コンセントから電源プラグを抜いてください。
 - 自動車や自転車を運転中に使用しないでください。周囲の音が聞こえにくくなり、交通事故の原因となります。
- ※以上のことをお守りいただけない場合、ショート・感電・火災・事故・故障の原因となります。故障の際はご自分で修理なさらず、ご購入店、もしくはサポートセンターまでご連絡ください。

⚠ 注意

- 本製品は精密機器です。下記の条件で保管・使用なさらないようご注意ください。
 - 振動や衝撃の加わる場所
 - 高温になる場所
 - 湿気の多い場所・水に濡れる危険のある場所
 - ホコリの多い場所
 - 強い電磁波・磁力の発生する場所
 - 静電気の強い場所
 - 結露の発生しやすい条件の場所
- イヤホンを使用する場合、音量を大きくしすぎないようにご注意ください。長時間大音量で使用すると、聴力障害の原因となります。
- 乾電池を使用する場合、古い電池と新しい乾電池、種類の異なる乾電池を混在させて使用しないでください。また、未使用のものでも使用推奨期限を過ぎた乾電池は使用しないでください。
- 長時間使用しないときは乾電池カセットテープを本体から取り出して保管してください。
- カセット挿入口に手を深く入れないでください。ケガの原因となることがあります。
- AC アダプタやイヤホンをお使いの場合、ケーブルに手や足をひっかけたり、本製品が落下しないようご注意ください。

- 本製品を使用するにあたり、接続する外部機器、カセットテープの取扱説明書をよくお読みになり、注意事項を厳守してください。

本製品をご使用になった結果、外部機器・カセットテープ等の故障や録音の消失、また他の物的損害や人的損害が生じた場合、いかなる理由におきましても補償はいたしかねます。

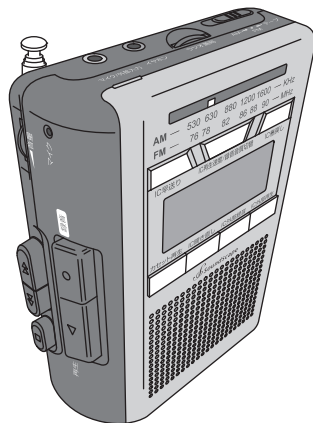
2 ご使用の前に

2-1. 内容物の確認

パッケージには本体のほかに、各付属品が同梱されています。

本体や付属品を取り出す際には、破損しないよう十分ご注意ください。

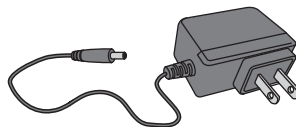
※はじめから破損していたり、付属品が不足している場合には、ご購入店までお問い合わせください。



●IC 録音 AM/FM

カセットレコーダー本体 × 1

●取扱説明書／製品保証書（本書）× 1



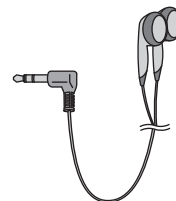
●AC アダプタ × 1



●外付けマイク × 1



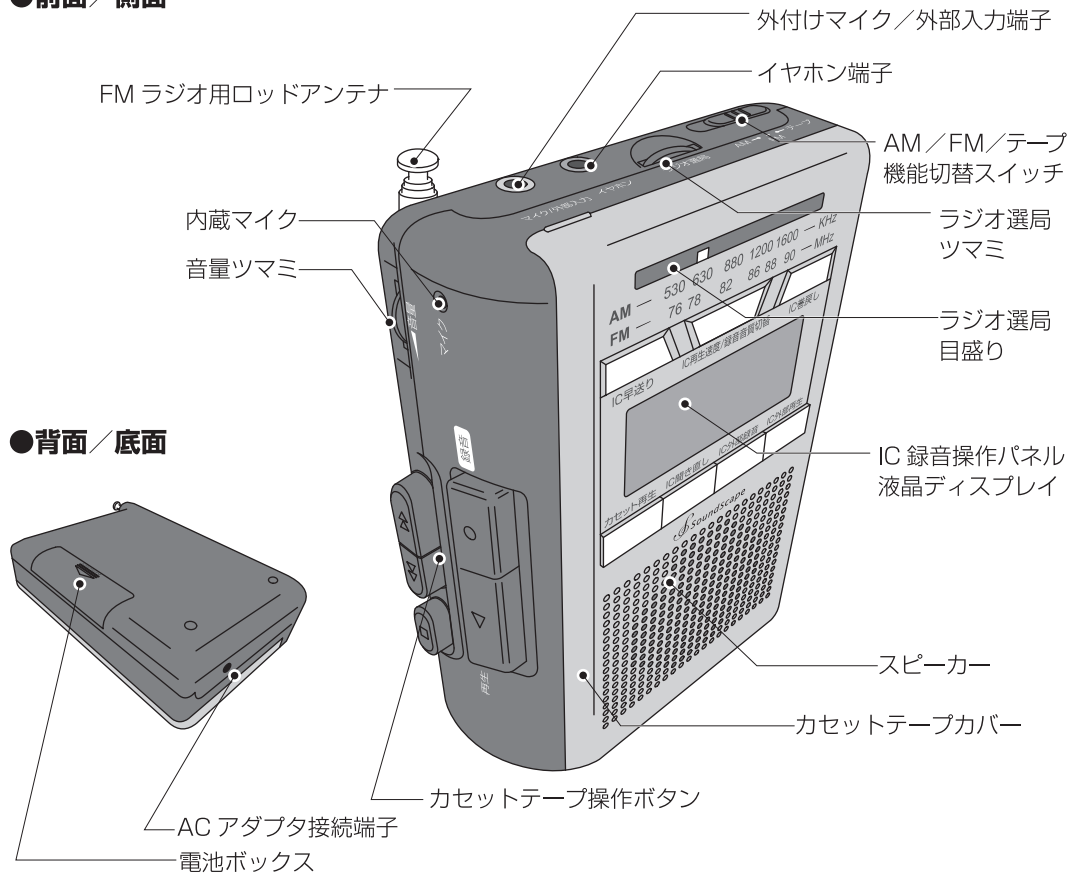
●φ3.5mm ステレオミニプラグ
オーディオケーブル × 1



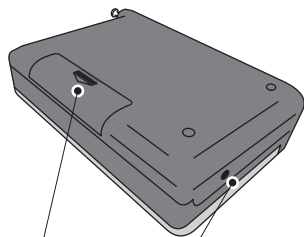
●イヤホン × 1

2-2. 各部の名称と機能

●前面／側面



●背面／底面

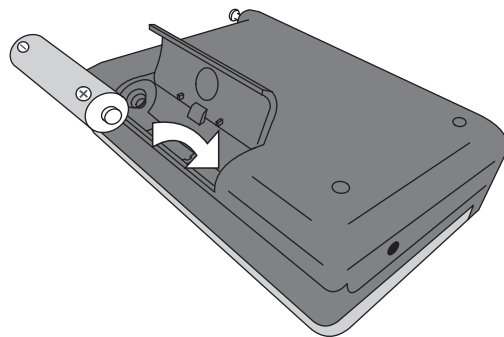


2-3. 電源について

●電池のセット

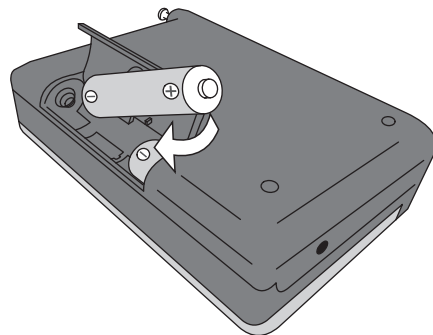
本製品を電池で使用する場合、単三型アルカリ乾電池2本（別売）を本体背面の電池ボックスにセットします。

①電池ボックスのフタを横にスライドさせ、上に持ち上げます。



②まず、電池1本を底面方向へ挿入します。
※+極と-極の方向を確認してください。

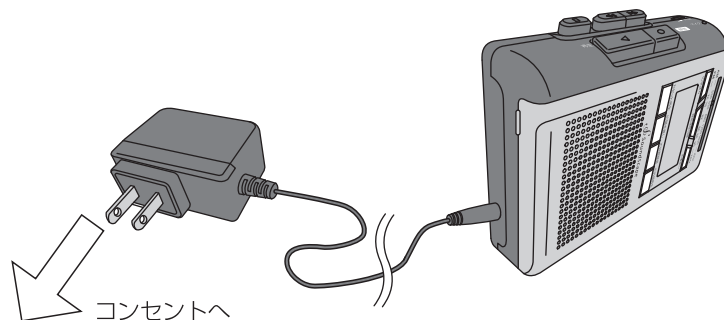
③もう1本の電池を、-極の方向に押し込みながらセットします。



※電池が消耗した場合、ラジオの受信はできてもカセットテープの再生ができない場合があります。

●AC アダプタのセット

本製品を AC 電源で使用する場合、付属の AC アダプタをコンセントに接続します。

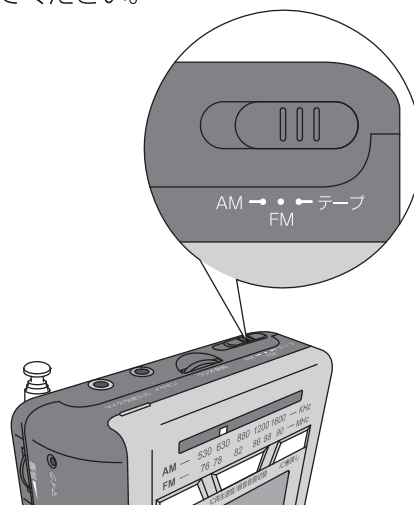


※AC アダプタは必ず本製品に付属のものを使用してください。

●使用しないときは

本製品をご使用にならないときは、本体上面にある機能切替スイッチを「テープ」の位置に合わせてください。テープモードでは、カセットテープ操作ボタンを押さないかぎり、本製品は動作しません。

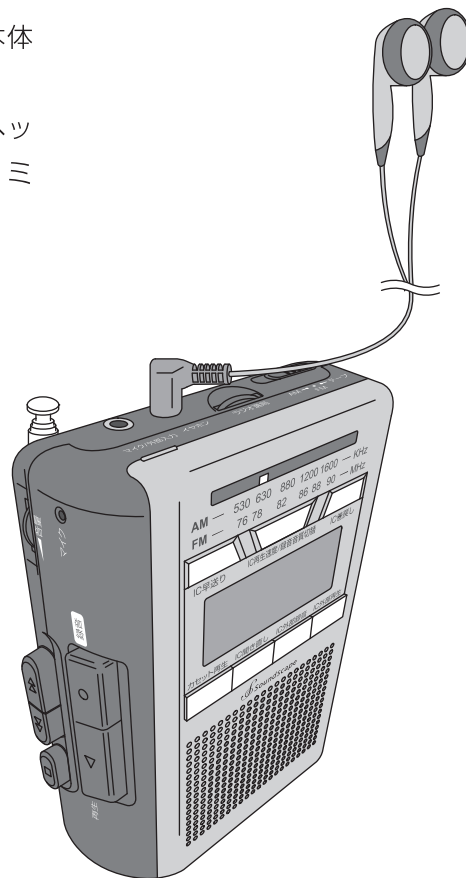
ただし、この状態でも微量ながら電力を消費しますので、長時間ご使用にならないときは電池や AC アダプタを本体から外してください。



2-4. イヤホンを使用するには

付属のイヤホンを使用するには、図のように本体のイヤホン端子に接続します。

付属のイヤホンのほか、別売りのイヤホン／ヘッドフォンを使用することもできます。φ3.5mm ミニプラグの製品をご用意ください。



3 使用方法

3-1. ラジオを聴くには

- ①機能切替スイッチを「AM」または「FM」機能切替スイッチ
に合わせます。

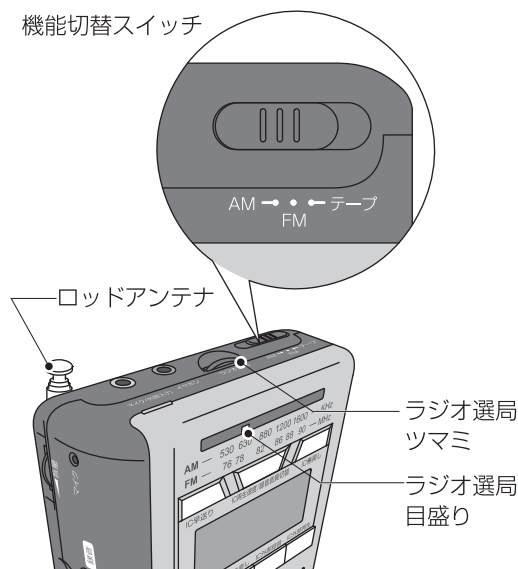
- ②選局ツマミでお聴きになりたい放送局の周波数に合わせます。本体前面にある周波数目盛りを参考にして調整してください。

- ③FM ラジオをお聴きになる場合は、ロッドアンテナを伸ばして受信感度が良好になる方向へ向けてください。(ロッドアンテナの根元は回りません。)

AM ラジオをお聴きになる場合は、本体を受信感度が良好になる方向へ向けてください。(AM アンテナは本体に内蔵されています。)

鉄筋のビルの中等では、受信状況が悪い場合があります。場所を変えて受信してみてください。

※ご使用の場所の電波環境によっては改善されない場合もあります。



④音量の調節は本体側面の音量ツマミで行います。

※ラジオ受信を終了し、電源を OFF にするには機能切替スイッチを「テープ」の位置に合わせます。

※AC アダプタを使用すると、AM ラジオ受信時にノイズが入る場合があります。その場合はアルカリ乾電池を使用してください。

3-2. カセットテープ取り扱い上の注意

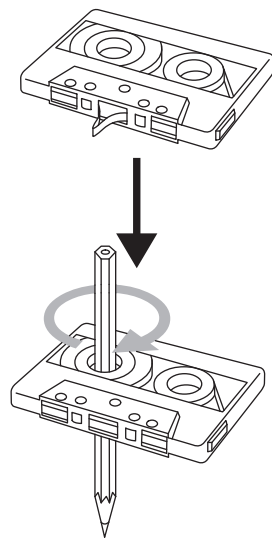
●使用できるテープの種類

本製品で使用するカセットテープは再生／録音共に 60 分未満のノーマルテープ（TYPE I）を使用してください。

※60 分以上のテープは薄く、変形しやすく、巻き込みなどの原因となる場合があります。万一、ご使用になり、本体に不具合が発生した際の修理は、有償となります。（テープの修理・修復等は承ることができません。）

●カセットテープのたるみを取る

再生前にカセットテープがたるんでいる場合は鉛筆などを用いて、図のようにたるみをとってください。たるんだままセットし再生させると、テープがローラーに巻き込まれてテープや本体が破損する恐れがあります。



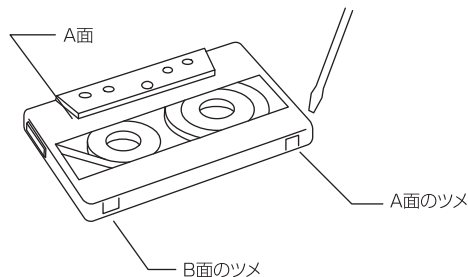
●リーダーテープについて

カセットテープの両端数秒分はリーダーテープ（透明や白など）になっており、この部分には録音できません。録音する場合はあらかじめこの部分を巻き取ってください。

●録音したテープの保護

録音を保存しておきたい場合は、カセットテープの底面（テープ露出部の反対側）にあるツメを折っておくと、上書き録音を防止することができます。（ツメを折っておくと録音ボタンが押せません。無理に押すと故障の原因となりますのでご注意ください。）

また、もう一度録音したい場合はツメを折った部分をセロハンテープなどでふさいでください。



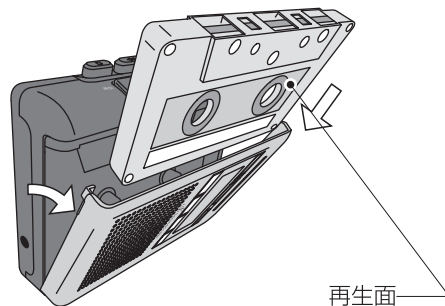
3-3. カセットテープを聴くには

●カセットテープのセット

カセットカバーの突起に爪をかけ、カバーを開けます。

図を参考に、向きに注意してカセットテープをセットしてください。

※再生中はカセットテープカバーを絶対に開けないでください。



●カセットテープの再生

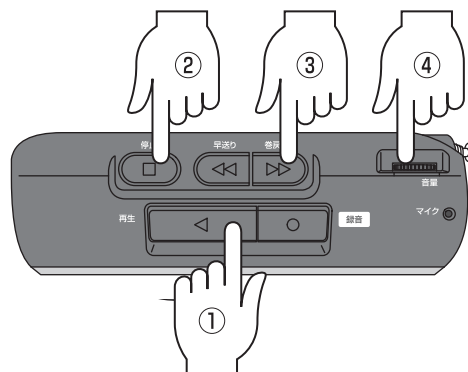
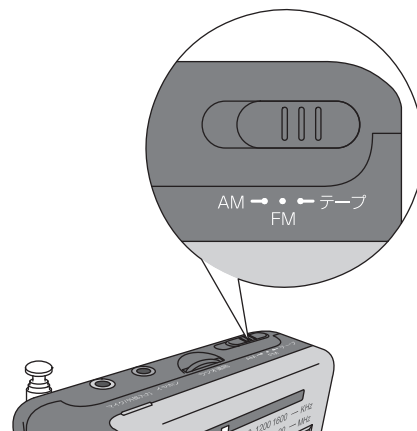
機能切替スイッチを「テープ」に合わせます。

カセットテープの再生操作は、本体側面のボタンで行います。

- ①再生するには  ボタンを押します。
 - ②停止するには  ボタンを押します。
 - ③早送りは  ボタンを、巻戻しは  ボタンを押します。
 - ④音量の調節は本体側面の音量調節ツマミで行います。
- ※再生しながらの早送り／巻戻しはできません。

※テープに負担がかかるため、早送り／巻戻し後に再生する場合は、一度  ボタンを押して停止させ、その後に  ボタンを押して再生させてください。

※再生、巻戻し／早送りでテープが最後まで巻き取られると自動的に停止します。

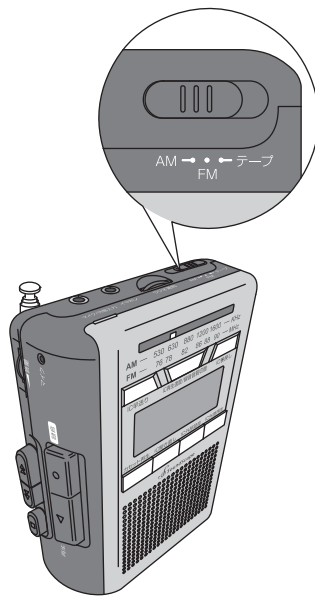
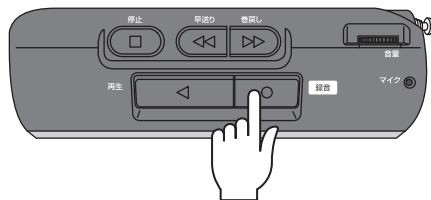


3-4. カセットテープに録音するには

ラジオ放送や、内蔵マイク／外付けマイク／外部機器からの音声をカセットテープに録音することができます。

●ラジオから録音するには

- ① カセットテープをセットします (⑩～⑫ページ参照)。
- ② ⑨ページを参照し、ラジオを受信します。(機能切替スイッチは「FM」または「AM」に合わせます)
- ③  ボタンを押します。 ボタンを押すと、同時に  ボタンも押されます。録音が始まります。



- ④ 録音を停止するには  ボタンを押します。

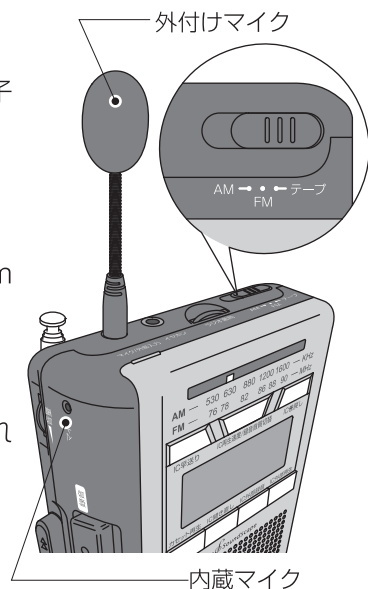
※  ボタンが押せない場合は、カセットテープのツメが折れて保護状態になっていないか確認してください。(無理に  ボタンを押すと故障の原因となります。)

※ 音量ツマミを調節しても録音音量には影響しません。

※ 録音した音量が再生中のラジオ番組よりも小さく感じることがあります。

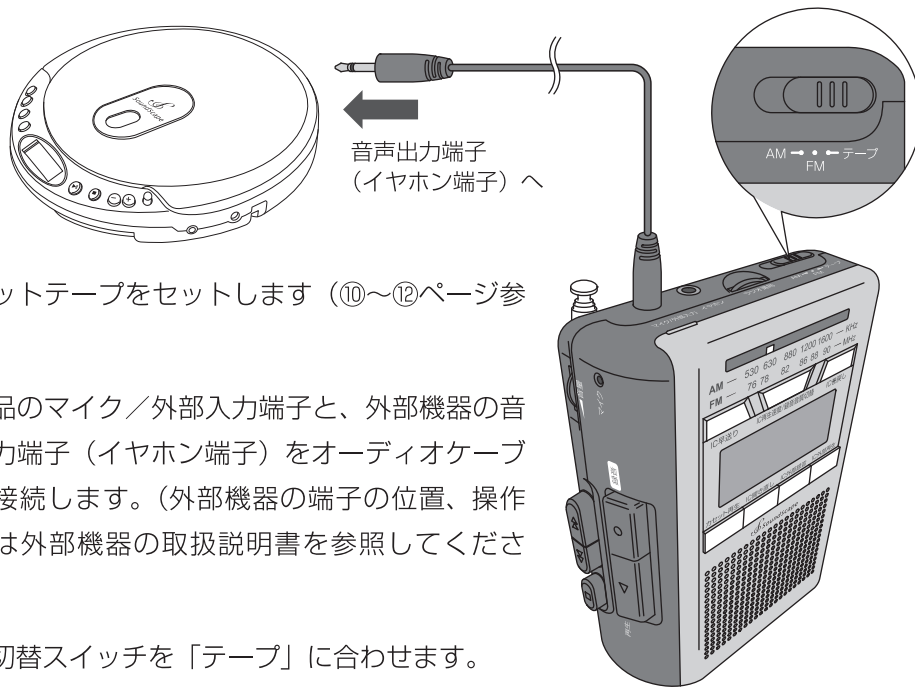
●内蔵マイク／外付けマイクから録音するには

- ①カセットテープをセットします（⑩～⑫ページ参照）。
- ②外付けマイクを使用する場合はマイク／外部入力端子に接続します。
- ③機能切替スイッチを「テープ」に合わせます。
- ④録音したい音源にマイクを近づけます（距離を 20cm 以内にしてください）。
- ⑤  ボタンを押します。
 ボタンを押すと、同時に  ボタンも押されます。録音が始まります。
- ⑥録音を停止するには  ボタンを押します。



- ※  ボタンが押せない場合は、カセットテープのツメが折れて保護状態になっていないか確認してください。（無理に  ボタンを押すと故障の原因となります。）
- ※外部の音を録音する場合、環境によってはノイズが大きくなることがあります。その場合はできるだけ、マイクを音源に近づけてください。
- ※音量ツマミを調節しても録音音量には影響しません。

●外部機器から録音するには



- ①カセットテープをセットします (⑩～⑫ページ参照)。
- ②本製品のマイク／外部入力端子と、外部機器の音声出力端子 (イヤホン端子) をオーディオケーブルで接続します。(外部機器の端子の位置、操作方法は外部機器の取扱説明書を参照してください。)
- ③機能切替スイッチを「テープ」に合わせます。
- ④外部機器を操作して再生を開始します。
- ⑤  ボタンを押します。  ボタンを押すと、同時に  ボタンも押されます。録音が始まります。
- ⑥録音を停止するには  ボタンを押します。

※録音音量の調節は外部機器側で行います。本製品側での音量調節は録音音量には影響しません。

※外部機器を本製品に近づけすぎたり、外部機器の音量を大きくしすぎると、録音にノイズが入ったり音質が悪くなる場合があります。

※録音された音声は、録音元の音声より音質が低下する場合があります。

※AC アダプタを使用すると、ノイズが入る場合があります。その場合はアルカリ乾電池を使用してください。

※**外部機器の音声は本製品のスピーカーからは再生されません。**

※  ボタンが押せない場合は、カセットテープのツメが折れて保護状態になっていないか確認してください。（無理に  ボタンを押すと故障の原因となります。）

3-5. IC 聞き直し再生

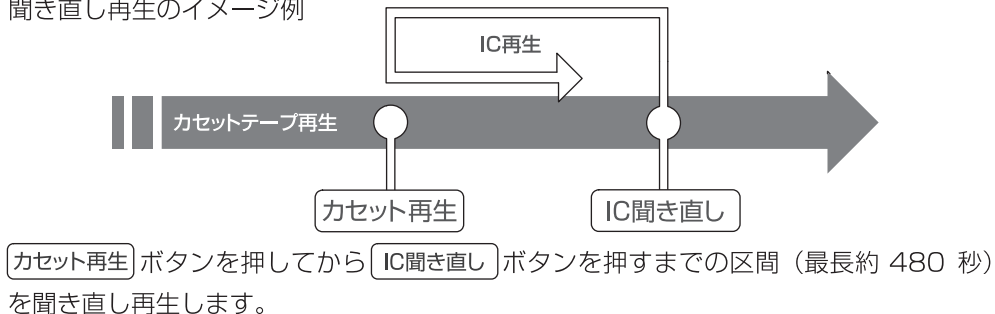
カセットテープ再生中、覚えたい部分、確認したい部分だけを簡単なボタン操作で繰り返して聞き直すことができます。

本体前面の **IC聞き直し** ボタンを押すと、**◀** ボタンを押してカセットテープの再生を開始してから、もしくはカセットテープ再生中に本体前面の **カセット再生** ボタンを押してから **IC聞き直し** ボタンを押すまでの区間（最長録音時間分を超えた部分は削除されます）が聞き直し再生されます。

IC に録音できる時間は最長で約 480 秒間（高音質モード時 240 秒間）です。

IC 録音は一時的に本体に記録されるもので、録音内容を保存する機能ではありません。

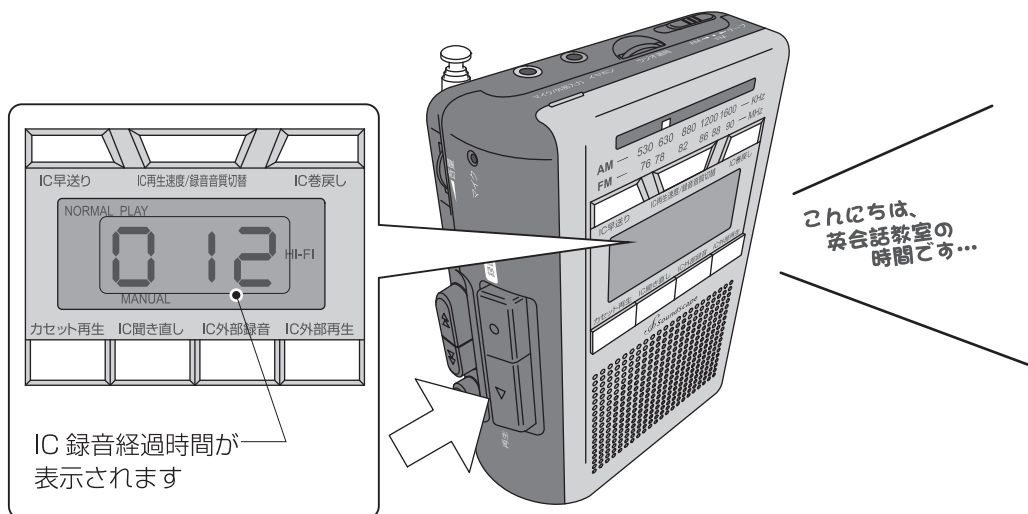
聞き直し再生のイメージ例



●IC 聞き直し再生するには

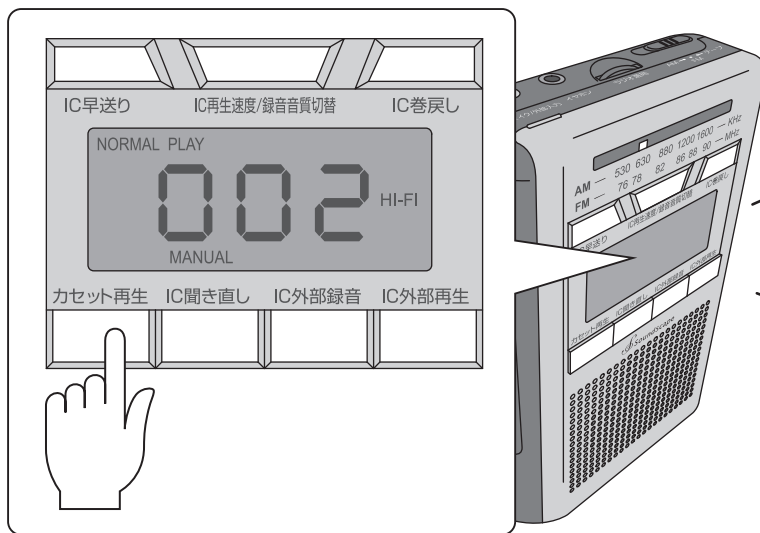
1 カセットテープをセットし、再生します。(⑩～⑫ページ参照)

液晶ディスプレイに「PLAY」の文字と IC 録音経過時間が秒数で表示されます。



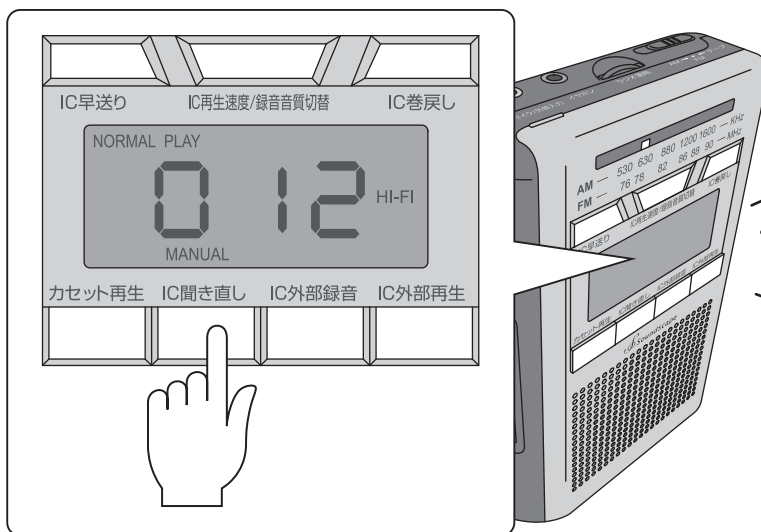
2 聞き直したい部分のはじめで **カセット再生** ボタンを押します。

カセット再生 ボタンを押すと録音経過時間と録音内容がリセットされ、新たに IC 録音が始まります。(経過時間表示は最長録音時間 (17ページ参照) で停止し、最長録音時間を越えた部分は削除されます。)



では、今日の例文を
聴いてみましょう...
I think you...

3 聞き直したい部分の終わりで IC聞き直し ボタンを押します。



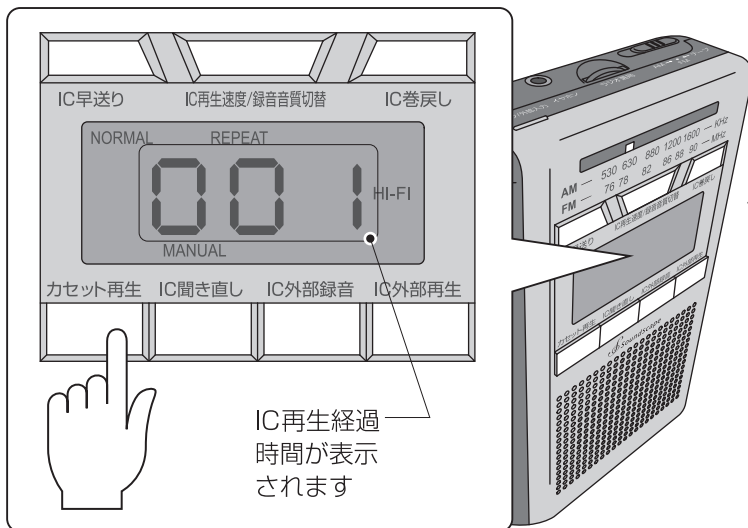
4

②～③の範囲が繰り返し再生されます。

カセットテープが一時停止され、聞き直し再生が始まります。液晶ディスプレイに「REPEAT」の文字と再生経過時間が秒数で表示されます。

繰り返し再生を終えるには **カセット再生** ボタンを押します。

※繰り返しモード（次ページ参照）が AUTO の場合は 3 回繰り返すとカセットテープ再生に戻ります。



*I think you
need to hit
the books.*

●再生速度を切り替えるには

IC 録音音声の再生速度を「SLOW (ゆっくり) 2」「SLOW1」「NORMAL (通常速度)」「RAPID (はやい) 1」「RAPID2」の 5 段階で切り替えることができます。再生速度は液晶ディスプレイに表示されます。

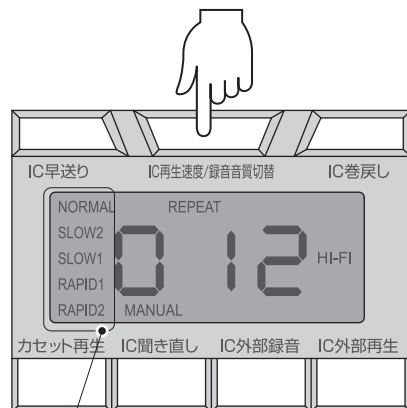
IC 録音音声の再生速度を切り替えるには、カセットテープ再生中、または IC 録音音声再生中に **IC再生速度/録音音質切替** ボタンを押します。

「NORMAL」→「SLOW1」→「SLOW2」→「RAPID2」→「RAPID1」→「NORMAL」の順序で切り替わります。

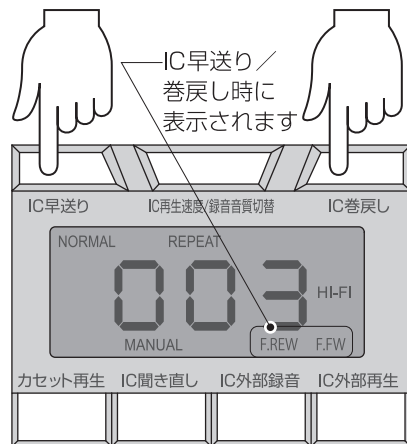
●早送り／巻戻しについて

IC 聞き直し再生中に **IC早送り** **IC巻戻し** ボタンを押すと、早送り／巻戻しすることができます。早送り／巻戻し中は液晶ディスプレイに「F.FW／F.REW」と表示されます。

※ **IC早送り** **IC巻戻し** ボタンを最後に離れた場所は記憶され、2 回目以後の繰り返し再生時はその場所からの再生になります。

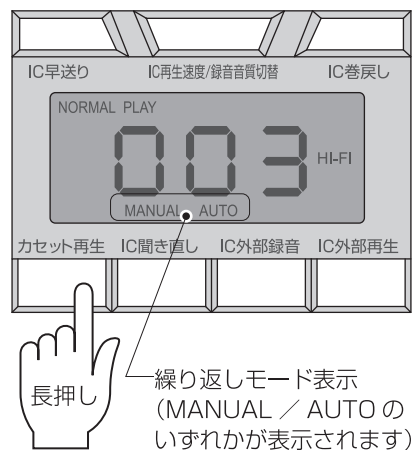


IC 録音音声の再生速度が表示されます



●繰り返しモードについて

IC 聞き直しの繰り返し方には MANUAL と AUTO の2つのモードがあります。AUTO モードではIC聞き直し再生が3回繰り返し終わると、自動的にカセットテープ再生に戻ります。MANUAL モードでは **カセット再生** ボタンを押すまで IC 聞き直し再生が繰り返されます。繰り返しモードを切り替えるには、カセットテープ再生中に **カセット再生** ボタンを長押しします。



●録音音質を切り替えるには

IC 録音音質は、高音質 (HI-FI) と通常音質で切り替えることができます。IC 録音音質を切り替えるには、カセットテープ再生中に **IC再生速度/録音音質切替** ボタンを長押しします。高音質 (HI-FI) 選択時は、液晶ディスプレイに「HI-FI」と表示されます。



3-6. IC 外部録音／外部再生

カセットテープ再生中、内蔵マイク／外付けマイクからの音声を IC 録音し、再生させることができます。自分の発音や発声、演奏などを録音し、カセットテープの音声と聞き比べるなどの目的に便利です。IC 外部録音できる最長時間は、IC 聞き直し再生と同じです (⑪ページ参照)。

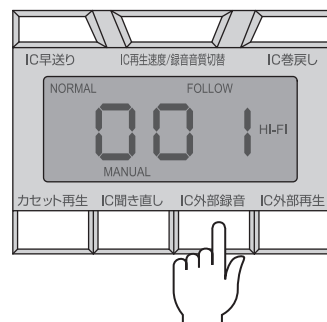
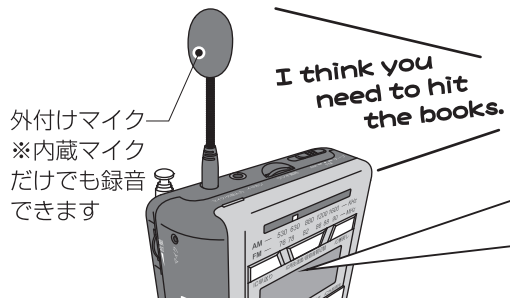
IC 外部録音を行うと、IC 聞き直し再生のために録音されていた内容はリセットされます。
IC 外部録音は一時的に本体に記録されるもので、録音内容を保存する機能ではありません。

●IC 外部録音／外部再生を行うには

1 カセットテープをセットし、再生します。(⑩～⑫ページ参照)

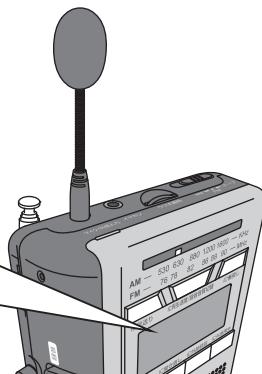
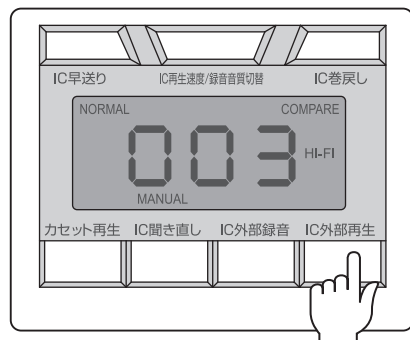
2 IC外部録音 ボタンを押します。マイクに向かって録音します。

カセットテープが一時停止状態になり、液晶ディスプレイに「FOLLOW」と表示され、録音状態になります。



3 録音が終了したら **IC外部再生** ボタンを押します。

液晶ディスプレイに「COMPARE」と表示され、IC 外部録音された内容が再生されます。



4 IC 外部再生を終えるには、**カセット再生** ボタンを押します。

カセットテープ再生が再開されます。(IC に録音されていた内容はリセットされます。)

※音量は音量ツマミで調節します。

※繰り返しモード、録音音質切替、再生速度の操作は IC 聞き直し再生時と同様です (⑰ページ参照)。ただし、IC 早送り／IC 巻戻し操作はできません。

※IC 録音された内容は  ボタンを押してカセットテープが停止状態になるとリセットされます。

※ラジオ放送を直接 IC 録音することはできません。(カセットテープに録音することはできます。⑬ページ参照)

4 故障かな?と思ったら

症 状	対 処 方 法
電源が入らない	○AC アダプタを使用している場合はコンセントに正常に接続されているかご確認ください。 ○電池が正しくセットされているか、電池が消耗していないかご確認ください。
カセットテープが再生できない／録音できない	○ヘッドが汚れていると正常に再生／録音ができません。市販のクリーニングカセット等で清掃してください。 ○古いカセットテープはテープの伸びや磁気記録の劣化などによって正常に再生されない場合があります。テープを交換してご使用ください。 ○音量が最小になっていないか、またはミュートの状態になっていないかご確認ください。 ○電池が消耗していないかご確認ください。電池が消耗した場合、ラジオの受信はできても、カセットテープが再生できないことがあります。 ○カセットテープのツメが折れて保護状態になっていないか確認してください。 ○充電池を使用していませんか。充電池は電圧が低く、カセットテープの再生ができない場合があります。アルカリ乾電池を使用してください。
外部機器からの音声が聞こえない／録音できない	○外部機器からの音声は本製品のスピーカーから再生されません。 ○外部機器からの音量が最小になっていると録音できません。外部機器側で録音音量を調節してください。
内蔵マイク／外付けマイクから録音できない	○外付けマイクを使用している場合、正常に接続されているか、マイクが故障していないか確認してください。 ○講演などを録音する場合、周囲の環境によってはノイズが大きくなり正常に録音できない場合があります。できるだけ講演者の近くで録音してください。

症 状	対 処 方 法
IC 録音できない	○カセットテープ再生状態でなければ IC 録音できません。 ○IC 録音の内容はカセットテープが停止するとリセットされます。 ○IC 外部録音は一時的に本体に記録されるもので、録音内容を保存する機能ではありません。
ラジオが受信できない／ノイズが入る	○AM ラジオの場合本体の向き、設置場所を調整してください。FM ラジオの場合はロッドアンテナの方向を調節してください。また、鉄筋のビルの中等では受信状況が悪い場合があります。場所を変えて受信してみてください。 ○AC アダプタを使用しているとノイズがはいることがあります。その場合はアルカリ乾電池を使用してください。 ○テレビやスマートフォン等の電気製品のそばではノイズが入る場合があります（スマートフォンの場合はカセットテープ再生時にもノイズが入ることがあります）。
結露している	○電源を抜き、結露がなくなってから再度試してみてください。

うまく動作しないときは、まず上記の項目をチェックしてください。該当する項目がない場合、または対処方法を試しても直らない場合は、販売店またはサポートセンターにご相談ください。

5 お手入れについて

本製品を清掃する場合は、乾いた布で埃や汚れを拭き取ってください。また、分解や塗装はしないでください。

カセットテープのヘッドや走行部の清掃は市販のクリーニングカセット等をご使用になり定期的に行ってください。

本製品はプラスチック、電子部品、金属を使用しています。リサイクルの際は、自治体の規定に従って正しく処理してください。

6 仕様表

電 源	DC3V（単三型アルカリ乾電池2本・別売） AC アダプタを使用する場合：AC100V 50/60Hz
外 形 寸 法	約 91×127×36mm
重 量	約 203g（本体のみ）
スピーカー出力	200mW
イヤホン出力	5mW
周 波 数 範 囲	FM：76～90MHz AM：530～1600KHz
電池持続時間	カセットテープ再生：約6時間 ラジオ再生：約 15 時間 ※アルカリ乾電池使用時
IC 録 音 時 間	標 準：約 480 秒間 高音質：約 240 秒間
同 梱 品	IC 録音 AM/FM カセットレコーダー本体、AC アダプタ、 φ3.5mm ステレオミニプラグオーディオケーブル、 イヤホン、外付けマイク、製品保証書付き取扱説明書（本書）

7 アフターサービス

①保証書

この取扱説明書には保証書がついています。保証書はお買上げの販売店で「販売店名・お買上げ日」等の記入をご確認のうえ、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。保証期間はお買上げ日より1年間です。

②修理を依頼される時

※保証期間中は製品に保証書を添えてお買上げ販売店へご持参ください。保証規定の記載内容により、無料修理致します。

※保証期間経過後の修理は、修理すれば使用できる製品については有料で修理を承ります。

※保証期間内外に関わらず、当社に直接お送り頂く際の送料は、お客様負担とさせていただきます。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明な場合は、お買上げの販売店または当社お客様相談室にお問い合わせください。

③アフターサービスについてご不明な場合

アフターサービスについてご不明な場合には、お買上げ販売店、または下記サポートセンターまでお問い合わせください。

お取扱い方法についてのご相談およびアフターサービスのご案内

サポートセンター
電話番号 **03-6803-0191**

受付時間：10：00～12：00、13：00～17：00
（土、日、祝祭日および当社規定休業日を除く）

製品保証書

持込修理

〈保証規定〉

このたびは、Soundscape IC 録音 AM/FM カセットレコーダー SS-603 をご購入頂きありがとうございます。当社ではアフターサービスを提供することを保証いたします。お客様の権益を保護するため、下記の文章をご覧ください。

①ご購入日から1年以内に正常なご使用で故障が発生した場合、製品と、保証書をご持参のうえ、お買い上げ販売店にお申しつけください。当社無料修理保証規定に基づき無償で修理、または新品と交換いたします。

②保証期間でも次のような場合には有料修理となります。

※使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。

※お買い上げ後の取付場所の移動、落下、引越し、輸送等による故障または損傷。

※火災、地震、水害、落雷、その他天災地変ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障または損傷。

※業務用としての使用、船舶への搭載など一般家庭用以外に使用された場合の故障または損傷。

※本書の提示がない場合。

※本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。

③本書は日本国内においてのみ有効です。Effective only in Japan.

●所定記入欄が空欄のままですと、本書は有効とはなりません。記入のない場合はただちにお買い上げの販売店へお申し出ください。

●太枠線内はご購入後、お客様自身がご記入ください。

●本書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保管してください。

製品名	IC録音AM/FMカセットレコーダー SS-603		
保証期間(お買い上げ日より)	1年間	お買い上げ日	年 月 日
お 客 様	フリガナ		
	お名前	様	
	ご住所 〒 -		
	電話番号() -		
取扱販売店名・住所・電話番号			

販売元 株式会社TOHO 〒110-0016 東京都台東区台東2-19-10

TOHOサポートセンター

Tel.03-6803-0191

受付時間：月～金 10:00～12:00 13:00～17:00
※土日、祝祭日はお休みを頂いております。